

第四二章 歴史と預言における異邦人

I 神のご計画の中での異邦人

1 人類の三つの大きな区分（I コリ 10：32）と神の目的

- ①ユダヤ人；神の啓示、特別な取り扱い、キリストが来られるための媒体。
- ②神の教会；神の恵みを啓示。
- ③ギリシャ人（異邦人）；神の主権性と全能性とを示す。

2 その他の区分

その他の区分としては御使いを通しての神の働きがあるが、ふつうこれは人間の歴史あるいは預言の重要な要素の一つとは考えられていない。

II 異邦人に関する初期の預言

1 エデンの園

ある意味では、異邦人に関する預言はエデンの園から始まった。

2 ノアの洪水（創世 6～9 章）

神はノアとその家族のほかは皆、洪水によって滅ぼされた。

3 バベルの塔（創世 11：1-9）

神のさばきの記録。

4 アブラハム以降

創世記 12 章以降でアブラハムとその子孫が神に選ばれると、それ以外の人類は異邦人として生き続ける。歴史においては大きな異邦人の勢力が次々に興った。

①エジプト

エジプトにおいてイスラエルは小さな家族から大きな民族へと成長する。

②アッシリア

イスラエル 12 部族のうち 10 の部族は BC.712 アッシリアへと連れ去られる。

III 異邦人の時代

1 ダニエルの預言に見る四つの国（ダニエル 2 章）

- ①バビロン；金の頭
- ②メド・ペルシャ；銀の上半身
- ③ギリシャ；青銅の下半身
- ④ローマ；鉄の足

これらの四つの国が支配する時代をキリストは異邦人の時（ルカ 21：24）といった。

この間、エルサレムは異邦人の支配の下にあり、キリスト再臨のときまでエルサレムが解放されることはないであろう。

2 復興ローマ帝国

ダニエル 2 章の像の足と 7 章の 10 本の角をもつ獣に象徴される国がやがて興るであろう。それは、キリストが王国を建設するために再臨なさる前に実現する。

3 キリストの再臨

キリストの地上への再臨によって異邦人の時が完成すると、それに続いて、救われて地上で千年王国に入れられている異邦人たちは、神からの特別な祝福を味わうことになる。